

KUNIKO KATO

SOLO CONCERT

「スティーブ・ライヒ～アルボ・ペルトの世界へ」

KUNIKO KATO SOLO CONCERT "THE WORLD OF STEVE REICH～ARVO PÄRT"

—彼女の典雅な存在感が全てを支配していた。

2011年HSBC チェルトナム国際音楽祭で英国タイムズ誌が評した『クニコ・ブレイズ・ライヒ』。作曲家スティーブ・ライヒ自身の監修のもと、世界初の打楽器アレンジメントとして高音質で名高い英国リンレコースより2011年に世界同時発売され、僅か半年で同レーベルの年間ベストアルバムに選出される。2011年12年と精力的に世界ツアーを行った『クニコ・ブレイズ・ライヒ』のコンサート版は、その完成度を高く評価され第12回サントリー佐治敏三賞を受賞。前作より2年、今年7月、待望のニューアルバム『CANTUS』（カントゥス）が英国より世界へ向けてグローバルリリースされた。このアルバムは、2012年に米国初演を行ったライヒの「カウンターポイント三部作」に続く4番目のカウンターポイント「ニューヨーク・カウンターポイント」のマリンバ版、新たに加藤訓子のパーカッション・アレンジによるアルヴォ・ペルトの代表作四作品「アリーナのために」、「カントゥス」、「フラトレス」、「鏡の中の鏡」、ハイウェル・デイヴィスの「パール・グラウンド」で構成される。『カントゥス』では、アレンジ、パフォーマンス、独創的な音響空間の全てにおいて、更なる進化を遂げる中、打楽器の世界観と究極のミニマリズムを追求している。

北海道公演では、リリース直後数週間足らずで英国オフィシャルクラシックチャート・トップ10入りを果たしニューアルバム『カントゥス』より、今年7月に英国初演後、欧州ツアーを終ったライブ版を披露します。

—「静寂のなかにシンプルな構成のアルペジオや持続音が響き、その音色の階調の豊かさと余韻の美しさは息を呑むほどだ。文字通り聴衆の息遣いまで聴こえるほどの静寂のなか、マリンバの澄んだ音が浸透していく。」
山之内 正（音楽評論家）

—「この『CANTUS』を聴くにつけ、加藤訓子は、知りうる最高の芸術家です。強靱な知性に支えられた、木と鉄の板は、天空の旋律を奏で、すでに奇跡です。沈黙の涯、無から有を立ち上げるこの世に数少ない音楽家です。」
山口 孝（音楽評論家）

プログラム：

J.S. バッハ／平均律クラヴィア曲集第一番ハ長調 BWV846 より前奏曲

J.S. バッハ／無伴奏チェロ組曲第一番ト長調 BVW1007 より前奏曲

S・ライヒ／シックスマリンバ・カウンターポイント

S・ライヒ／ニューヨーク・カウンターポイント

アルヴォ・ペルト／カントゥス—ベンジャミン・ブリテンの思い出に

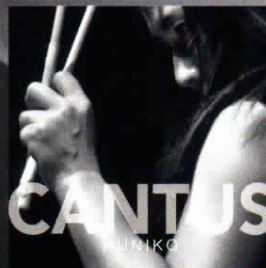
アルヴォ・ペルト／フラトレス

アルヴォ・ペルト／鏡の中の鏡

ハイウェル・デイヴィス／パール・グラウンド

加藤 訓子（かとう・くにこ）パーカッショニスト

桐朋学園大学卒。世界的マリンバリスト・安部圭子に師事。桐朋学園大学研究科終了と共に渡欧。ロッテルダム音楽院を首席で卒業。日本を代表するパーカッショニストとして世界を舞台に活躍する。アンサンブル・ノマド、サイトウキネンオーケストラ、アンサンブル・イクトウス（ベルギー）など国内外のグループへ参加後、ソリストとしての活動を主とする。ダルムシュタット国際現代音楽祭クラニヒシュタイン賞、米国PASより世界35人のマリンバリストへ選ばれた等、受賞歴多数。その多才さは、コンテンポラリーダンス、演劇等の音楽監督や異ジャンルとのコラボレーションにも発揮される。スティーブ・ライヒのカウンターポイント代表作3作品をパーカッション用に世界で初めて編曲したアルバム「クニコ・ブレイズ・ライヒ」が、英国リンレコースから2011年5月にグローバルリリースされ、高音質のみならず音楽性の高さとライヒ自身の監修が話題を呼び、リリース直後にチャート1位を記録した上、僅か半年で同年のベストアルバムに選出される。パール楽器・アダマス社（蘭）インターナショナルアーティスト。米国在住。



アルバム「CANTUS」

2013年6月全世界発売・配信
リンレコース（英）

【収録曲】

Steve Reich - New York Counterpoint,
Arvo Pärt - Cantus, Fur Alina,
Fratres, Spiegel im Spiegel 他

【チケット取扱先】

大丸プレイガイド、道新プレイガイド

【メール申込み】

moerefan@moerefan.or.jp 宛にお客様のご氏名、連絡先、電話番号を明記してご送信下さい。返信メールで確認頂き、公演当日に代金を精算致します。

主催：加藤訓子コンサート実行委員会

協賛：パール楽器製造株式会社・アダマス・リンレコース

助成：芸術文化振興基金

後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社、北海道打楽器協会、FMノースウェーブ、三響楽器、井関楽器、NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会（モエレファンクラブ）、NPO法人アルテビアツツアびばい

Graphic design: kazuyuki Inomaki



© mario boccia